

第17回 城北地区
ふれ愛まつり
ふれ愛の心がまー五(5町会)のわ

10月1日(土) 午前 9時30分～午後 4時
10月2日(日) 午前 9時30分～午後 3時30分
城北公民館・城北地区福祉ひろば

イベント
10月1日(土) 利用団体による発表
10月2日(日)
午前10時30分～ 豊前小学校 金管バンド
午後1時30分～ 豊州大学 吹奏楽研究会
午後2時15分～ 上戸音楽倶楽部

作品展示
あそびのひろば

喫茶コナ コーヒー・ケーキ
やきそば
汁

抹茶コナ

販売コナ 野菜・人参・手作り豆腐など

おたのしみは... お持ちしています!



平成28年11月1日現在

総世帯数	3,544
総人口	7,692
男	3,664
女	4,028



熊本地震に学ぶ

右往左往の熊本市

10月19日城北公民館で、熊本地震の被災地を視察した松本市危機管理部の嵯峨宏一郎長が、現地の被災民の状況や市町村の取り組みなどについて講演しました。



今年4月14日益城町を中心に発生した熊本地震は、発生が午後9時半近くだったことや職員自身も被災したため緊急で駆け付けた職員は4割程度でした。また、熊本は地震がないところと職員も市民も信じていたため災害時の心得がなく、駆け付けた職員も何から始めればいいのか右往左往するばかりでした。

更に市役所が避難所や物資の集積所になってしまい、救援活動に支障が出ました。救援物資の仕分けや避難所への配達に過不足が出て、物資はあるものの被災者に届かないといった事態が方々で見られました。

担当者は「日頃の訓練が職

員・市民ともども必要だった」としみじみ話していたということです。

松本市の取り組み

こうした熊本視察の結果を踏まえ、松本市での取り組みについて、次のように話しました。

松本市は「防災危機管理部」を県内唯一発足させ、職員19人が自然災害、防災教育、消防団組織の充実などに当たる一方、それぞれの避難所への職員の派遣計画、食料・飲料水の備蓄などを策定しています。

しかし、災害時には被災市民が「お客様」としてではなく、避難所の運営も職員任せにせず、市民自らが自主的に関わるようにしていく必要があります。特に女性の目線からの運営に期待していました。

災害時の拠点となる「防災センター」の建設も必要だと重ねて強調していました。

松本市は、平成23年に松本南部地震がありました。今後震度6弱以上の地震が30年以内に30%の確率である、といわれています。

最後に「自分の命は自分が守ることが肝要だ」と講演を締めくくりました。

聴導犬の訓練をみる

―人権啓発推進研修―

11月8日、委員23名が宮田村の「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」を訪れました。



こえない人の日常生活を介助する聴導犬は、主に飼主に見捨てられた中から適性をみて引き取り訓練しているそうです。

聴導犬は来客のドアノックやチャイム、赤ちゃんの泣き声・笛吹き葉笛や目覚まし時計などのほか煙感知や避難警報といった命に関わる情報を主人に伝えます。また介助犬としては、身体が不自由で車椅子を利用して人へ動作のお手伝いも仕事です。実演では黄色のユニホームを着た富士ちゃん(ビーグル雑種)などが、聞き取って前足で知らせたり落下物を口で拾って渡す様子を間近で観ました。

日本聴導犬協会は来年開設

ファミリーコンサート

20周年を迎えます。全国には現在65頭の聴導犬が活躍しています。この会は厚生労働大臣指定の社会福祉法人ですが国からの補助金はなく、募金と寄付で運営しています。

午後は駒ヶ岳山麓の林に囲まれたJICA(国際協力機構)「駒ヶ根青年海外協力隊訓練所」を訪れました。ここは開発途上国の発展に貢献するため派遣する技術協力担当の専門家・協力隊員の教育機関です。長野県からも1000人を超す派遣の実績があります。



10月29日、城北地区子ども会育成会と嶺ヶ崎児童館を運営するNPOしろがねが、地域発元気づくり支援金事業でファミリーコンサートを開催

しました。

会場の桐保育園で、130人がエバリーの生演奏を楽しみました。大学時代からの4人組エバリーは平成18年に子ども病院でコンサートをしてから毎年、保育園・幼稚園・小学校を訪れ、松本は第二の故郷と語ってくれました。

皆のよく知っている「トルコ行進曲」で登場し、みんなの手拍子で「幸せなら手をたたこう」を踊ったりしました。また、会場の子どもに、バイオリンを持たせ一緒に「キラキラ星」を演奏したり、大人とはじゃんけんして勝った人にCDをプレゼントして盛りあげられました。

目を閉じて静かにクラシックの「カノン」を聴いたり、オリジナル曲「僕らの未来へ」や「デイズニードレ」などたくさん曲を演奏しました。

コンサートに参加した、6年生の百瀬大貴君は「皆、上手できれいな音です。よかった」、3年生の石川創吾君は「生演奏を初めて聴いた、迫力があつた」と感想を語ってくれました。北風のふく寒い日でしたが心温まるコンサートの1時間はあっという間に終わりました。